

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



U004-09

会場:304

時間:5月26日 14:55-15:15

## 地球地図第2版整備の取組 Activities for the development of Global Map Version 2

中村 孝之<sup>1\*</sup>, 高橋 英尚<sup>1</sup>, 飯村 威<sup>1</sup>, 岸本 紀子<sup>1</sup>, 高木 美穂<sup>1</sup>, 小島 脩平<sup>1</sup>, 須賀 正樹<sup>1</sup>  
Takayuki Nakamura<sup>1\*</sup>, Hidehisa Takahashi<sup>1</sup>, Takeshi Iimura<sup>1</sup>, Noriko Kishimoto<sup>1</sup>, Miho Takagi<sup>1</sup>, Shuhei Kojima<sup>1</sup>, Masaki Suga<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国土地理院

<sup>1</sup> GSI of Japan

地球地図プロジェクトは世界各国の国家地図作成機関が協力して全球の基盤的地理空間情報である地球地図を整備するプロジェクトである。地球地図は、境界、水系、交通網、人口集中域、標高、土地利用、土地被覆、植生の8項目からなる解像度1kmの統一仕様のデータである。2008年に全球陸域をカバーする地球地図第1版が公開され、気候変動、災害、生物多様性、教育など様々な分野で活用されている。

地球地図は地球環境の変化を継続的に把握するため、5年に1度更新することとしている。現在、2012年完成を目標に地球地図第2版の整備を行っている。地球地図第2版では、ISOに準拠したデータフォーマット(GML3.2.1)やメタデータを採用するとともに、いくつかのデータ項目や属性を追加するなど、データの利活用促進のために仕様を改訂した。また、国土地理院は、地球地図国際運営委員会事務局として、データ整備マニュアルやメタデータエディタ、データチェックツールを作成するなど、データ整備を支援している。

当日は、地球地図プロジェクトの概要や第2版整備の取組について報告する。

キーワード: 地球地図第2版, GML, 地球地図プロジェクト, 仕様

Keywords: Global Mapping Version2, GML, Global Mapping Project, specifications